

第6学年 組 国語科学習指導案

日時

場所

指導者

1 単元名 目的や条件に応じて、計画的に話し合おう

2 題材名 「みんなで楽しく過ごすために」

3 単元設定の理由

(1) 児童観

省略

(2) 題材観

本単元は、目的や条件に応じて計画的に話し合うことと、グループで合意形成を図って終わるだけでなく、試行錯誤しながら新たな課題を発見し、解決に導いていくことをねらいとしている。6年生の話し合いの学習として、進行計画を立てること、主張・理由・根拠を明確にして自分の考えをまとめること、目的や条件に照らして話し合い、問題点を明らかにしながら協働的に解決策を創出することを学ぶ。ここでは、一度「仮の結論」を決めて思考することが重要になってくる。実生活にいきる話し合いは、一度決めたことを基に試行錯誤しながら最適解を探し続ける過程である。「みんなで楽しく過ごすために」という目的の下で多様な立場から出された意見を検討し、まとめていくという話し合いの活動を通して、自分だけでなく相手の意見も認めることで、言葉によって相手との関係がよくなっていくことを実感させることのできる単元である。

(3) 指導観

自他のよさを生かし、学び合い、高め合う児童の育成をしていけるよう、国語科の授業を通して、互いの考えを進んで伝え合ったり、認め合ったりすることが必要であると考え。

そのために、多様な言語活動を通してコミュニケーション能力を高め、主体的・対話的で深い学びを実現させていくことが大切である。

○主体的に学ぶための工夫

- ・ 以前行った遊びを、より工夫して楽しいものにするための具体策を考えるという、児童にとって必要感のある話題を設定することで、よりよい解決に向けての見通しをもたせる。
- ・ 仮の案を試行する中で、話し合いでの想定と実際とを比べることで、よりよいものを創り上げていこうとする思いをもたせる。
- ・ 振り返りの視点を明確にすることで、ねらいが達成できたかどうかを把握し、次時の課題へとつなげていけるようにさせる。

○対話的に学ぶための工夫

- ・ 教科書の資料からよい話し合いの仕方を探査することで、よりよい話し合いの仕方をクラスで共有し、自分たちの話し合いに生かしていけるようにさせる。
- ・ 話し合いの目的や【広げる話し合い】と【まとめる話し合い】を確認することで、対話の仕方についての意識を高めさせる。
- ・ Canvaで作成した分類シートを使って話し合うことで、客観的に比較しながら意見を検討できるようにさせる。

○深い学びのための工夫

- ・ 主張が分かれた時の折り合いをつける話し合いの仕方を、事前に学習し話し合いの前に振り返ることで、互いの考えを否定せず尊重しながら話し合いを進めていき、仮の結論の決定をまとめるようにさせる。
- ・ 毎時間の振り返りを通して、既習事項と結び付けたり、新たな気づきを発見したり、これまでの学びの様子と比較して、より自他を高めていこうとしたりしている姿を称賛して、その学びのよさを広げるようにする。

4 単元の目標

- ◎ 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 (知(1)ア)
- ◎ 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。 (思A(1)オ)
- 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 (知(2)イ)
- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。 (思A(1)ア)

5 単元の指導計画 (7時間完了 本時 5/7)

次	時	学習活動
一	1	<ul style="list-style-type: none">・ 話し合う目的を確かめ、学習の見通しをもつ。・ 既習事項を確かめ、学習のめあてと話し合いの目的・条件について具体的に考える。
二	2	<ul style="list-style-type: none">・ 役割をグループごとに決め、話し合いの進行計画を立てる。
	3	<ul style="list-style-type: none">・ 「伝えにくいことを伝える」を読んで、話し合いがうまくいかないときの対応の仕方や折り合いのつけ方を考える。
	4	<ul style="list-style-type: none">・ 自分の考えをもち、主張や理由、根拠について明確になるように、図や表で整理する。
	5	<ul style="list-style-type: none">・ 話し合いをし、それぞれの考えの相違点、問題点、改善点などについて図や表を活用しながら明確にし、仮の結論をまとめる。(本時)

	6	<ul style="list-style-type: none"> 決まったことを実際に試してみて、さらなる改善点について話し合う。
三	7	<ul style="list-style-type: none"> 話し合った結果や感想、工夫した点などをクラスで報告し合い、学習を振り返る。

6 本時の指導

(1) 指導目標

- 話し合いの中で、共通点や相違点、問題点や改善点を考えながら聞くことで、主張を分類したり関係づけたりするなど、考えを広げたりまとめたりする話し合いをすることができる。
【思考力・判断力・表現力等】
- 目的や条件に沿って、よりよい解決に向けて見通しをもって話し合うことができる。
【主体的に学習に取り組む態度】

(2) 準備物

教師：教科書、タブレット端末、話し合いのポイント（掲示用）

児童：教科書、タブレット端末、ワークシート

(3) 指導課程

	学習活動（主な発問・予想される反応）	指導上の留意点 ◆：評価
導入 7分	1 前時の学習を想起する。 <ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を確認する。 2 話し合いを行う上での「目的」と「条件」について確認する。 <p>「目的」 なかよし班で、他学年との仲を深める。</p> <p>「条件」</p> <ol style="list-style-type: none"> どの学年でも、楽しめる遊び 時間は、準備や片付けも合わせて30分間 危険のない遊び 	<ul style="list-style-type: none"> 「目的」と「条件」を示すことで、「目的」と「条件」を中心に班の意見をまとめることを意識させる。
展開 〔前半20分〕	3 本時の学習のめあてを確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 目的や条件に沿って話し合い、班の考えを深めよう。 </div> <p>【発問例】</p> <ul style="list-style-type: none"> はじめに今日の話合いの目的は何ですか <p>【予想される答え】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「なかよし班」の遊びを考えること みんなで楽しむ遊びを考えること 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を相手に納得させることより、自分や相手の意見を比べることにより、班の考えを深めるために話し合いを行うことを伝える。 【広げる話し合い】と【まとめる話し合い】について確

【発問例】

- 「遊び」の条件は何ですが

【予想される答え】

- どの学年でも楽しむことができること
- 30分以内に終わる遊び出ること
- 安全な遊びであること

【指導補足】

本時のゴール目標をグループ内で統一する

4 班で話し合いを行う。

- 進行計画をもとに、【広げる話し合い】と【まとめる話し合い】について確認し、話し合いを行う。

【広げる話し合い】

- 結論や主張を先に言い、意見を出し合う。
- 主張や理由・根拠に関する、疑問点について質問する。
- お互いの意見の良さを見つける。

【話の予想】

- ①ドッジボールが良い。よく遊んでいる遊びでみんながルールを知っているから
- ②オンライントランプが良い。雨の日でも室内でみんなで遊ぶことができるから

【まとめる話し合い】

- 共通点や異なる点を明確にする。
- 問題点と改善点を明確にする。
- 改善点をふまえ、目的と条件に照らして、仮の結論を決める。

【話の予想】

- ①スポーツ系の話題の場合
 - 雨天時の対応、男女の力の差が問題点になる
 - 各班で問題を明確にし、仮の結論を作成する
- ②オンライン、室内系の場合
 - 身体を動かさないのでストレスがたまる
 - 各班で問題を明確にし、仮の結論を作成する

認することで、話し合いを通して、自分が身に付けたいことを確認させる。

- 主張などを書き込んだCanvaの分類シートをもとに話し合うことで、客観的に比較しながら意見を検討できるようにさせる。
- 状況によっては生成AIを使用して、遊びの内容を考えるたたき台を得てもよい。
- なかなか案が出てこなければ、昨年度の遊びの内容を紹介してもよい。
- ◆ 主張を分類したり関係づけたりしながら、考えを広げたりまとめたりしている。
(話し合いの様子)
- 話し合いの様子から、よい聞き方や話し方について称賛したり、助言したりする。

<p>展開 〔後半10分〕</p>	<p>5 目的や条件に沿った、仮の結論の決定をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的と条件を確認する。 ・ 意見が分かれた時の、折り合いの付け方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に学習した、「伝えにくいことを伝える」を振り返ることで、主張が分かれた時の折り合いをつける話し合いの仕方を意識させる。 ◆ 目的や条件に沿って、よりよい解決に向けて見通しをもって話し合おうとしている。 (話し合いの様子)
<p>まとめ 8分</p>	<p>6 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いを通して自分が身に付けたいことを確認し、できたことや学んだことを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が立てためあてを確認させることで、話し合いの活動を通して実践できたことや、今後に生かしていきたいことなどを、振り返りをさせる。

(4) 評価

- ・ それぞれの主張を書き込んだ Canva の分類シートをもとに考えを広げたりまとめたりする話し合いをすることができたか。

☆ 進行計画をもとに、【広げる話し合い】や【まとめる話し合い】をすることができたか。

(話し合いの様子・ワークシート) 【思考力・判断力・表現力など】

- ・ 互いの考えを否定せず尊重しながら話し合い、班で1つの仮の結論を導き出そうとしているか。

☆ 主張が分かれた時の折り合いをつける話し合いの仕方を意識しながら話し合うことができたか。

(話し合いの様子) 【主体的に学習に取り組む態度】

(5) 板書計画

<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ くができるようになった。 ・ 次は、くができるようになりたい。 <p>折り合いをつける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉や表現を選ぶ ・ 表情や口調に気をつける ・ 意見を認める 	<p>めあて</p> <p>目的や条件に沿って話し合い、班の考えを深めよう。</p> <p>【進行計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 一人ずつ意見を出し合う。 ② たがい質問し合い、疑問などを明らかにする。 ③ 目的や条件に照らして話し合い、仮の結論を決める。 	<p>目的</p> <p>みんな楽しく過ごすために</p> <p>条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なかよし班で、他学年との仲を深める。 ・ どの学年でも、楽しめる遊び ・ 密にならず、人と人との間隔を空けてできるもの ・ 時間は、準備や片付けも合わせて三十分間
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------